

第 5 回高岡市男女平等推進市民委員会 会議記録（要旨）

1 日 時	平成 19 年 12 月 26 日（水）14:30～15:50
2 場 所	高岡市役所本庁舎 3 階 庁議室
3 出席者	・ 委 員 19 名 （大石会長、辻副会長、穴田委員、尾崎委員、彼谷委員、川田委員、小間委員、西海委員、谷口委員、道具委員、日和委員、久湊委員、開委員、増岡委員、向委員、村上委員、梁瀬委員、山下委員、吉村委員） ・ 事務局 7 名 （岩坪経営企画部長、西淵経営企画部次長、塚原男女平等・共同参画課長、野村男女平等推進センター所長、亀谷主幹、能登主査、宮島主事） ・ その他 傍聴者 2 名
4 内 容	(1)経営企画部長・会長あいさつ (2)協議事項 市民意見等募集の結果及び反映等について（資料 1・2） 男女平等推進プラン（答申）案について（資料 3） (3)市長への答申（答申書（写）） (4)市長あいさつ 【配付資料】 ・ 資料 1 男女平等推進プラン基本計画に対する市民意見等の結果等について ・ 資料 2 男女平等推進プランに対する市民意見等の結果等について ・ 資料 3 高岡市男女平等推進プラン（答申）案 ・ 答申書（写） ・ 新任委員（日和委員）の紹介 ・ 傍聴希望者（2 名）の傍聴承認 (1)あいさつ ● 岩坪経営企画部長 男女平等推進プラン策定も詰めの段階を迎え、委員の皆様には、これまでのご協力に対し厚くお礼申しあげる。本日は、これまで熱心にご討議ご審議されたプランの答申をいただくということであり、よろしくお願いしたい。 大石会長 委員の皆様には、プラン策定にあたり、送付資料の事前学習や貴重な提言をいただき、お礼申しあげる。本日は、プランの基本計画及び事業計画、資料も含めた全体案を最終確認し、市長へ答申したいと考える。

(2)協議事項

・事務局より説明（資料１～３）

- 委員 図表の配置、語句等を製本までに精査されたい。
- 委員 資料３、P63～68の用語解説文中の年号についても、和暦と西暦を併記しては。
- 事務局 ご指摘のとおり訂正したい。
- 委員 資料３、P48、具体的施策No19の「女性の感性・視点等を活かした地域課題の発見・解決に努める」の部分は、差別的な考え方と捉えかねられないか。
資料３、P47、具体的施策No14の「ものづくりデザイン科の授業を実施し、市の優れた伝統工芸や産業について、体験学習を行う」の部分が固定的な性別役割分担等による慣行の解消とどう繋がるのか分からない。
- 事務局 「女性の感性・視点等・・・」の部分は、国の第２次基本計画においても、新たに盛り込まれた事項であり、女性の個性と能力をあらゆる分野に活用し、まちづくりに取り組んでももらいたいという趣旨である。
ものづくりデザイン科の設置は、市独自の特区事業であり、積極的にアピールしていくべきだと考えるとともに、学校教育という枠組みだけでなく、伝統文化・技術の継承や人材育成の醸成等の多くの目的を持っており、多様な職業観の育成に繋げていくものとする。
- 委員 ものづくりデザイン科を設置し、若い頃からものづくりを体験することは、多様な職業選択につながるので、プランに記述するべき。
- 委員 特に若い人にプランが普及していくよう、今後啓発の部分で工夫してもらいたい。
- 委員 「女性の感性・視点等を活かした」の部分を「あらゆる人権を尊重した」又は「男女平等の視点で」に変更しては。
(市長・部局長等で構成される)男女平等推進庁内連絡会議ではこういった議論がされているのか。議事録を公開しては。
- 会長 これらの意見のうち、今後の課題については、事務局でご検討いただきたい。
なお、プランの修正にかかる部分については、会長に一任して、事務局と必要な修正を加えるということで、ご了承いただきたい。

以上の審議を経て、一部修正した資料３を答申として取りまとめることとした。

(3)市長への答申

大石会長

プランの審議に当たっての基本的な考え方について、１点目は、社会経済情勢の変化に対応することはもちろん、旧高岡市と福岡町の合併に伴い新市に引き継がれた男女平等推進条例の理念にのっとり、「市の総合計画」はじめ各種計画との整合、「国・県の男女共同参画基本計画」の見直し等の動きを踏まえること。

２点目は、市の意識実態調査やタウンミーティングの意見、市民団体からの要望や基本計画・事業計画（案）に対する市民の皆さんの意見等について十分考慮すること。

３点目は、旧市町のプランの趣旨や背景等についても尊重しながら、それぞれ充実しているところ

るを引き継ぐこと。

「男女が、お互いを尊重し、認め合い、支え合い、さまざまな分野で一人ひとりの個性と能力を発揮する一方、労働条件や子育て支援などの環境も整備され、すべての人が健康でいきいきと楽しく暮らしている姿」、「福祉、防災、環境、交流等様々な分野で市民の力が発揮され、学校や企業も地域の一員として行政と連携して活躍するとともに多くの市民が参画し、一人ひとりがまちづくりを支えている姿」などを実現するため、施策を体系化して「認めあい 支えあい 共に輝く ひととまち」を目指すプランとして取りまとめた。

計画期間については、平成 19 年度から平成 28 年度までの 10 年間を基本計画として、平成 23 年度までの 5 年間を前期事業計画期間としている。

この市民の皆様、当委員会の思いを十分に理解され、新しい計画を速やかに決定され、高岡市の男女平等・共同参画の推進に邁進していただくことを希望する。

・大石会長から橘市長へ答申（答申書（写））

(4)市長あいさつ

●橘市長

まなびの場、仕事の場、地域における協働事業等、様々な場面で、男女が共に頑張る参画・協働のまちづくりを更に推進しつつ、環境や安全、健康、教育等の様々な分野の充実を図りたい。

答申いただいたものを速やかに計画として定め、これに基づいた施策が進んでいくよう努力したい。

委員の皆様には、今後ともそれぞれのお立場でのお力添えやご指導を願いし、お礼の挨拶とする。